

## 第1学年 国語科学習指導案

1 単元名 はっきり はなそう 「みんなにしらせたいこと」

### 2 指導観

○ 本学年の子どもたちは、国語科の「話すこと・聞くこと」の単元において、次のような学習経験をしている。1学期の「はる」「たんけんしたよ、みつけたよ」では、聞き手に分かるように話すこと、興味をもち、大事なことを落とさないように聞くこと、丁寧な言葉で話すことを学習してきた。また、「すきなもの、おしえて」では、尋ねたいことが相手によく分かるように話すことも学習してきた。子どもたちの「話すこと・聞くこと」に対する意識をアンケート調査したところ、「みんなの前や先生の前で、自分の考えや思っていることを進んで話せますか。」という質問に対して「とてもできる」が62%、「だいたいできる」が28%、「あまりできない」が8%、「できない」が1%という結果だった。「話を最後まで聞いていますか。」という質問では、「とてもできている」が78%、「だいたいできる」が11%、「あまりできない」が6%、「できない」が5%と結果がでた。以上のことから、多くの子どもたちが話すこと・聞くことの活動に意欲的であると考えられる。

一方、教師の目から見たところでは、子どもたちは分からないことがあった時、どうやってよいか分からない子どもや、最後まで話を聞くことができている子どもが多いという実態がある。このことから、事柄の順序を考えて分かりやすく話すことや、大事なことを落とさずに聞く力が付くように指導していく必要があると考えられる。

また、日常では、木曜日の朝に行っている「音読タイム」で、リズムよく読めるような詩を用い、口形に気を付け、大きな声ではっきりと読むように指導してきた。朝の会では、日直が伝えたいことを話す場を設定しており、クラス全体に、一回で聞こえる元気な声で話すことに慣れさせているところである。

○ 本単元、「はっきりはなそう」では、自分の大事にしているものを友達に知らせ、友達の話を興味をもって聞き、伝え合いの楽しさを知ることなどをねらいとしている。話すことについては、丁寧な言葉遣いで話の順序を考えながら、相手に分かるように話す力、聞くことについては、大事なことを落とさないように興味をもって聞くことができる力である。

このように、本単元で設定する、大事にしているものを伝え合う活動は、日常生活でも順序を考え聞き手によく分かるように話したり、わからないことを尋ねたりする技能を伸ばしていく上で価値があると考えられる。

○ 本単元の指導にあたっては、まず「つかむ」段階では、教師の「大事にしているもの」の話を聞かせ、学習の見通しをもたせると共に、自分の大事にしているものを知らせる意欲をもたせる。その際に、「大事にしているもの」についての条件を示し、自分の思いがしっかりともてるものを選ぶようにする。また、話す内容は三つの内容で話すことにも気付かせておく。次に「伝え合う」段階においては、教師のモデル文をもとに順序に気を付けて、話したり聞いたりできるようにする。また、はっきりと丁寧な言葉で話し、分からない時は聞き返すことができるようにすることについては、子どものモデル（ビデオ）で話し方について知らせ、「一人練習」「ペア練習」（4回）をする中でできていくようにする。さらに、感想や質問が言えるようにするために、子どものモデルを提示し、感想の言い方や質問の仕方を高めていくようにする。そして、「いかす」段階では、これまでに学習したことを生かしてはっきりと話したり、聞いたりできるようにする。その際に、グループでの発表の仕方を提示し、発表会の見通しをもち、安心してはっきり話せることのよさを感じながら伝え合えるようにする。

#### こんなモデル・提示の仕方

- 教師による演示  
学習の見通しや意欲をもたせる。
- カセットテープでのモデル提示  
ペア練習の仕方をつかませる。
- モデル文の提示  
話の順序を「はじめ」「なか」「おわり」で提示し、順序よく話すことに気付かせる。
- 子どもによる演示  
身に付けたい話し方・聞き方をスモールステップで確かめ、次のめあてをもたせる。
- ビデオでのモデル提示  
よくない例のモデルとよい例のモデルの比較から、聞き取りにくい場合の聞き返し方や、相手に分かりやすい話し方を視覚的に理解させる。

### 3 単元目標

- 「大事にしているもの」を楽しく伝えたり、興味をもって聞いたりしようとすることができる。
- みんなに知らせたいことを選び、話の順序を考えながら友達に分かるように話すことができる。
- 話の大事なことを落とさないように興味を持って聞くことができる。
- はっきりした発音で、丁寧な言葉を使って話すことができる。

4 指導計画 (全5時間)

段階	配時	ね ら い	学習活動	主な支援と留意点
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達に自分の大事にしているものを知らせる意欲をもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達に知らせたい事について話し合う。</li> <li>先生の「大事にしているもの」について話を聞き、話す3つの内容について知る。</li> <li>先生の「大事にしているもの」について内容ごとに読む。</li> <li>自分の「大事にしているもの」を選び、絵や言葉(メモ)で表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しい雰囲気の中で話をしながらこれからの学習の見通しをもたせる。</li> <li>大事なものについての条件として、「ずっと使っている」「ずっと持っている」「捨てられない」などを設定し、大事なものをはっきりさせる。</li> <li>教師の話(モデル)を聞いて発表の見通しをもたせる。</li> <li>自分の思いをもてるように、想起させる言葉をかける。</li> </ul>
伝え合う	3 (本時) 2/5 1の○	<ul style="list-style-type: none"> <li>順序に気を付けて、話したり聞いたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に分かるように話すための順序について知る。</li> <li>「一人練習」で順序に気を付けて、話す練習をする。</li> <li>話し手と聞き手のペアになって、順序に気を付けて、相手に分かるように練習をする。(ペアを替え1回目～4回目)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師のモデル文(よくない順序)を用い、相手に分かるように文の順序を考えさせる。</li> <li>ペア練習の仕方が分かるモデル提示をする。</li> <li>順序に気を付けて話したり聞いたりできるように子どものペアのモデルを提示する。</li> </ul>
	(本時) 3/5 1の○ 1の○	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手にはっきりと丁寧な言葉で話し、分からないときは聞き返すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に分かるように話すためにはっきりと話し、分からないときは聞き返すことについて知る。</li> <li>丁寧な言葉で話す練習をする。</li> <li>話し手と聞き手のペアになって、はっきりと話し、分からないときは聞き返すことに気を付けて練習をする。(ペアを替え1回目～4回目)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はっきりと話しているモデルと分かりにくいモデルを比較させ、相手に分かる話し方ができるようにする。</li> <li>はっきりと丁寧に話し、分からないときは聞き返す子どものペアのモデルを提示する。</li> </ul>
	(本時) 4/5 1の○ 1の○	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の話したことに感想を言ったり、質問をしたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想や質問の言い方を知り、練習をする。</li> <li>話し手と聞き手のペアで、感想や質問が言えるように練習をする。(ペアを替え1回目～4回目)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もっとお互いに分かりあうために感想を言ったり、聞いたりするとよいことに気づかせる。</li> <li>感想を言ったり、質問をしたりできるように子どものペアのモデルを提示する。</li> </ul>
いかす	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>はっきりと話したり、質問したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大事にしているもの」の発表会の仕方について知る。</li> <li>4つのグループに分かれて、発表会をする。</li> <li>発表を聞き合い、感想を言ったり質問をしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しい雰囲気の中で安心感をもって話せるようにする。</li> <li>グループでの発表の仕方が分かるような子どものモデルを提示する。</li> </ul>

## 5 本時 (2/5)

### 6 本時の目標

- 自分の大事にしているものを順序に気を付けて、話したり聞いたりすることができる。
- 順序に気を付けて、話したり聞いたりできるようになるために、モデルを見て、ペアで練習することができる。

### 7 本時指導の考え方

本時は、自分が大事にしているものを相手によく分かるようにするために、順序に気を付けて話すことと、相手の大事にしているものを聞いている時も順序に気を付けて聞くことを目標としている。

子どもたちは前時に、大事にしているものの「大事」とはどんなことかについて考え、「ずっと使っている」「ずっと持っている」「捨てられない」など、その意味について話し合いをしている。また教師の「大事にしているもの」についての話を聞き、話が「はじめ」では大事にしているもの、「なか」では大事にしているわけ、「おわり」では今の気持ちの3つで構成されていることに気が付き、内容ごとに話す練習をしている。自分が「大事にしているもの」の中で、自分の思いを伝えたいと思うものを1つ選び、これからの学習の見通しをもっている。そして、大事にしているものを友達にはっきりと分かりやすく知らせたいと意欲をもち、絵や言葉(メモ)に表している。子どもたちはこの段階では、大事にしているものに対する思いはもっているが、相手にどのように話したら分かりやすいか、よく分かっていない。

そこで、本時は子どもが、相手によく分かるように話すことができるようになるためにモデルを通して、順序に気を付けて、話の内容を決めたり、句読点の後の間を大事にしたりして話すことができるようになることを目指していきたい。また、聞かせるときも話の順序が正しく話せているかしっかり聞かせていきたい。

ここでのモデル提示は3つある。

**モデル提示1**は、相手に分かるように話すには順序に気を付けて話すことに気付かせるための教師の演示によるモデルである。「はじめ」「なか」「おわり」の3つの話を、①「おわり」②「なか」③「はじめ」の順番に変えると話の内容が分かりにくいことに気付かせ、話す順序が大切であるということを、理解させることをねらっている。

**モデル提示2**は、ペアの練習の仕方が分かるための音声モデルである。2人ペアになり、①はじめのあいさつ②大事にしているもの③感想④おわりの言葉の順番で話す対話の仕方が分かることをねらっている。

**モデル提示3**は、4回のペア練習を行う前に身に付けさせたい力をはっきりさせて練習を行い、意識して練習できたかどうかを確かめるための子どもの演示によるモデルである。子どもたちの実態を見ながら、①話を最後まで話したり、聞いたりする②ゆっくりでも順序正しく話し、しっかり聞く③相手の目を見て話したり聞いたりする④話し手は、句読点や順序を正しく話し、聞き手は順序正しく話している内容が分かるように、うなずいたり、指を折ったりして聞くことができるようにしていく。少しずつスモールステップで練習していくことで、どの子どもにも本時のめあてが達成できるようになると考えている。

### 8 準備

- 教師 「はなすちからのき」「きくちからのき」の絵、音声モデル  
教師の話①②③を書いたカード、ペアの練習の仕方が分かる掲示物
- 子ども ふりかえりカード

## 5 本時 (3 / 5)

### 6 本時の目標

- 自分の大事にしているものをはっきりと丁寧な言葉で話し、分からない時は聞き返すことができる。
- はっきりと丁寧な話し方ができるようになるために、モデルを見て、ペアで練習をすることができる。

### 7 本時指導の考え方

本時は子どもがはっきりとした口形で、丁寧な言葉を使って、自分の大事にしているものを相手に話して伝えることと、相手の大事にしているものを聞く時、分からない場合は、だまっただまにしないで、声に出して聞き返すことができるようになることを目標としている。

子どもたちは前時で、自分の大事にしているものを相手に話す時には、思いついたままに話すのではなく、「はじめ」では大事にしているもの、「なか」では大事にしているわけ、「おわり」では今の気持ちを3つの文で順序よく話すことと分かりやすいことを学習し、練習をしている。隣に座った人とペアになり、4人の友達と合計4回、話したり聞いたりするペア練習をしている。はじめのうちは、順序を考えて3つの文で話すことだけで精一杯だったのが、4回のペア練習で少しずつ話すことに慣れてきた。また、4回のペア練習(お話タイム)の間で行われるモデル提示された友達の話し方や聞き方を見ることで、課題をもち意欲的に練習に取り組んでいた。しかし、この段階では、順序を考えて話すことで精一杯のため、相手に分かりやすく話すための、はっきりと丁寧に話すことは意識されておらず、まだ身に付いていない状態である。

そこで、本時では、子どもが相手に分かりやすく話すために、口をはっきり開けて、文末に「ます」や「です」等の丁寧な言葉を使って話せるようになることを目指している。せっかく順序を考えながら話しても、口形がはっきりしていなかったり、小さな声で話したりしていると、相手によく伝わらないことに気付かせ、課題をもって練習に取り組ませたい。モデルを見て、課題を明確にして4回話す練習をすることで、自信をもって話すことができるようになることを考える。話すときには、常に相手を意識させるが、はっきりと話していないために聞き取れず分からない時は、聞き手はよく分からないことを知らせることが、話し手のためにもなることにも気付かせたい。

ここでのモデル提示は4つある。

**モデル提示1**は、めあてをつかませるためのモデル文を使ったモデルである。

**モデル提示2**は、めあてをつかませるためのビデオを使ったモデルである。よくない例のモデルとよい例のモデルとの比較から、相手に分かりやすく話すためには、声の大きさ、口形、最後まではっきり話すこと、ちょうどよい速さに気をつけて話すことに気をつけて話す、よいことに気付かせることをねらっている。

**モデル提示3**は、ペアの練習の仕方が分かるための音声モデルである。ペア練習で分かりにくい時は聞き返すことや、聞き終わったら聞き手は感想を言う対話の仕方が分かることをねらっている。

**モデル提示4**は、ペア練習を行うときの身に付けさせたい力を明確にするための子どもの演示によるモデルである。はっきり話せるようになるために、身に付けさせたい力を段階的にスモールステップにして提示していく。子どもたちの状態を見ながら、ちょうどよい声の大きさ、口の形に気を付けて、最後まではっきり話す、ちょうどよい速さで話すといった力を積み重ねていく。スモールステップのモデル提示を受け、4回相手を替えて話す練習を行う中で、どの子どもにも本時のめあてが達成できるような手だてになると考えている。

## 8 準備

- 教師 「はなすちからのき」「きくちからのき」の絵、モデルビデオ(映像モデル)  
教師の話①②③を書いたカード、ペア練習の仕方が分かる掲示物
- 子ども ふりかえりカード

9 本時の展開 (1/5)

主な学習活動	主な支援と留意点
<p>1 単元の目標を知り、「大事にしているもの」について話し合う。</p> <p>(1) 「はっきりはなそう」という単元のめあてについて知る。</p> <p>(2) 「大事」とはどんなことを意味するか考えて発表する。</p> <p>2 今日のめあてを確認する。</p>	<p>○ 生活科で夏休みお話をしたことを思い出させ、みんなのことをもっと知るために、「大事にしているもの」についてはっきりと話すことを学習することを知らせる。</p> <p>○ 楽しい雰囲気です話をしながら、これからの学習を理解させる。</p> <p>○ 「大事にしているもの」の「大事」とはどんなことを意味するかを話し合い、条件を示し掲示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ずっと使っている</li> <li>・思い出がある</li> <li>・ずっと持っている</li> <li>・自分だけのもの</li> <li>・捨てられない</li> <li>・他の人には分からない</li> </ul>
<p>だいじにしているものについて、しらせたいことを きめよう。</p>	
<p>(1) 教師の「大事にしているもの」についての話を聞き、見通しや意欲を持つ。</p> <p>(2) 話す三つの内容について気づき、発表する。①～③</p> <p>(3) 教師の話を三つの内容ごとに読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①一斉</li> <li>②号車ごと</li> </ul> <p>3 自分の「大事にしているもの」を身近なところから選び、絵や言葉《メモ》にする。</p> <p>(1) 「大事にしているもの」についての条件について確認する。</p> <p>(2) 「大事にしているもの」について、知らせたいことを絵や言葉(メモ)で表す。</p> <p>4 「振り返りカード」を記入し、がんばったことやおもったことを発表する。</p>	<p>○ 学習の見通しや意欲を持たせるような内容と話し方を工夫する。 《モデル1》</p> <p>○ どんな話だったか、分かる文を黒板に掲示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①:「わたしの大事にしているものは、～す。」</li> <li>②:「知らせたいこと」大事な理由など</li> <li>③:「思ったことや気持ち」</li> </ul> <p>○ もう一度「大事にしているもの」についての条件について確認し、自分の思いを持って、大事にしているものを選べるようにする。</p> <p>○ 「大事にしているもの」が、なかなか見つからない子には、「大事にしているもの」を想起させるような言葉をかけ、自分の思いが持てるようにする。</p> <p>○ 話す力の木・聞く力の木を提示し、相手に分かるようにするために、自分で「大事にしているもの」について知らせたいと心から思うことを選ぶことができたことを確認する。</p> <p>○ 次時からは、自分の「大事にしているもの」を手にとってから、三つの内容で話すことを予告し、意欲が高まるような声かけをする。</p>

9 本時の展開 (2/5)

主な学習活動	主な支援と留意点																											
<p>1 前時を振り返り,今日のめあてを確認する。</p> <p>○ 前時の教師が話した「大事にしているもの」を想起し,内容と順序について想起する。</p> <p>①:「わたしの大事にしているものは,～です。」</p> <p>②:「そのわけは,～だからです。」</p> <p>③:「思ったことや気持ち」</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             じゅんじょにきをつけて,はなしたりきいたりしよう。         </div>	<p>○ 大事にしている物や,その絵や写真を持たせておき,より分かりやすい話し方ができるようにする。</p> <p>○ 前時で用いた教師の「大事にしているもの」の文の組み立てを変えて,3つの内容の掲示の順番をわざと入れ替え,相手に分かるように話すには順序に気をつけて話すことに気付かせる。 教師による演示 《モデル1》</p> <p>○ ①はじめ②なか③おわりの順序や,話し方が分かるように掲示する。(カード,カッコーめなど)</p>																											
<p>2 「大事にしているもの」について順序に気を付けて練習する。</p> <p>教師の「大事にしているもの」(一斉)</p> <p>自分の「大事にしているもの」(一人)</p> <p>3 話し手と聞き手のペアになって,順序に気をつけて練習をする。</p> <p>AB:よろしくおねがいします。</p> <p>A: <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">① ② ③</span></p> <p>A:さいごまではなせていたかどうかかんそうをいってください。</p> <p>B: <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">さいごまではなせていました。</span></p> <p>AB:ありがとうございました。</p>	<p>○ 句読点の後の間を大事にすること(文のまとまり)で,順序に気を付けることを意識させる。</p> <p>○ 物を手に持って話すように声かけする。</p> <p>○ なかなか自分の思いを言葉で表現できない子どもには,個別指導をする。(穴埋めカード)</p> <p>○ 前回とは別のペアにし,友だちのことをもっと知りたいという意欲を高める。</p> <p>○ ペア練習の仕方(流れ)が分かるように,音声のみに集中させて聞かせる。 教師の音声による提示 《モデル2》</p> <p>○ 「順序に気を付けて」というめあてを意識して取り組めるように声かけをする。</p> <p>○ ペア練習の前に,段階的に身に付けさせたい力を意識させ,ペア練習の間でモデルを提示することで,意欲を継続させながら,めあてに向かってスモールステップで高めていけるように支援する。</p>																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">おはなしタイム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目前 「最後まで話したり,聞いたりしよう。」</td> </tr> <tr> <td>活動後 モデルを見る。</td> </tr> <tr> <td>2回目前 「ゆっくり話し,しっかり聞こう。」</td> </tr> <tr> <td>活動後 モデルを見る。</td> </tr> <tr> <td>3回目前 「相手の目を見て話し,聞こう。」</td> </tr> <tr> <td>活動後 モデルを見る。</td> </tr> <tr> <td>4回目前 「相手に分かるように話し,聞こう。」</td> </tr> <tr> <td>活動後 モデルを見る。</td> </tr> </tbody> </table>	おはなしタイム	1回目前 「最後まで話したり,聞いたりしよう。」	活動後 モデルを見る。	2回目前 「ゆっくり話し,しっかり聞こう。」	活動後 モデルを見る。	3回目前 「相手の目を見て話し,聞こう。」	活動後 モデルを見る。	4回目前 「相手に分かるように話し,聞こう。」	活動後 モデルを見る。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">話し手</th> <th style="text-align: center;">聞き手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">最後まで話す</td> <td style="text-align: center;">最後まで聞く</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">1回目後,最後まで話し,聞くことができたモデル</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ゆっくり話す</td> <td style="text-align: center;">しっかり聞く</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">2回目後,ゆっくり話し,しっかり聞くことができたモデル</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">相手の目を見て話す</td> <td style="text-align: center;">相手の目を見て聞く</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">3回目後,相手の目を見て話し,聞くことができたモデル</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">句読点に気をつけて話す</td> <td style="text-align: center;">反応して聞く</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">4回目後,相手に分かるように話し,聞くことができたモデル</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;"><b>《モデル3》</b></p>	話し手	聞き手	最後まで話す	最後まで聞く	1回目後,最後まで話し,聞くことができたモデル		ゆっくり話す	しっかり聞く	2回目後,ゆっくり話し,しっかり聞くことができたモデル		相手の目を見て話す	相手の目を見て聞く	3回目後,相手の目を見て話し,聞くことができたモデル		句読点に気をつけて話す	反応して聞く	4回目後,相手に分かるように話し,聞くことができたモデル	
おはなしタイム																												
1回目前 「最後まで話したり,聞いたりしよう。」																												
活動後 モデルを見る。																												
2回目前 「ゆっくり話し,しっかり聞こう。」																												
活動後 モデルを見る。																												
3回目前 「相手の目を見て話し,聞こう。」																												
活動後 モデルを見る。																												
4回目前 「相手に分かるように話し,聞こう。」																												
活動後 モデルを見る。																												
話し手	聞き手																											
最後まで話す	最後まで聞く																											
1回目後,最後まで話し,聞くことができたモデル																												
ゆっくり話す	しっかり聞く																											
2回目後,ゆっくり話し,しっかり聞くことができたモデル																												
相手の目を見て話す	相手の目を見て聞く																											
3回目後,相手の目を見て話し,聞くことができたモデル																												
句読点に気をつけて話す	反応して聞く																											
4回目後,相手に分かるように話し,聞くことができたモデル																												
<p>4 「振り返りカード」を書き,がんばったことや思ったことを発表し,次時の学習を確認する。</p>	<p>○ 「はなすちからのき」・「きくちからのき」を提示し,相手に分かるようにするためには,順序に気を付けて話したり,聞いたりすることができたことを確認する。</p> <p>○ 次時への意欲につながるような声かけをする。</p>																											

9 本時の展開 (3/5)

主な学習活動	主な支援と留意点																										
<p>1 前時を振り返り,今日のめあてを確認する。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">はつきり, ていねいに, はなそう。</div>	<p>○ 「はなすちからのき」・「きくちからのき」を提示し, 前時を振り返らせる。</p> <p>○ もっとお互いに分かり合えるように話したり, 聞いたりするには, どうすればよいか考えさせる。</p>																										
<p>2 相手に分かるように話すためには, 丁寧な言葉で話し, 分からないときは, 聞き返すことについて知る。</p> <p>① 丁寧な言葉で話すことを知り, 練習をする。(一斉)</p> <p>② 聞き取りにくいときは, 聞き返すことを知り, 練習する。(一斉) 「もういちど, はなしてください。」</p> <p>③ はつきりと話すことを知り, 練習をする。(一人)</p> <p>3 話し手と聞き手のペアになって, はつきりと丁寧に話し, 分からないことは聞き返すことに気を付けて練習をする。</p> <p>AB: よろしくおねがいします。</p> <p>A: <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">① ② ③</span></p> <p>A: <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ちょうどよいこえのおおきさではなせていたかどうか, かんそうをいってください。</span></p> <p>B: <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ちょうどよいこえのおおきさではなせていました。</span></p> <p>AB: ありがとうございます。</p>	<p>○ 「～です。～ます。」が抜けた文でモデル提示をし, 相手に分かりやすく話すためには丁寧な言葉で話すことに気付かせる。 <b>《モデル1》</b></p> <p>○ 分からないときは, 聞き返すことに気付かせるよくない例のモデル (ビデオ)を提示し, 分からないときは聞き返せばよいことに気付かせる。</p> <p>○ はつきり話すことに気付かせるための, よくない例のモデルとよい例のモデル(ビデオ)を比較させる。 ・声の大きさ ・口の形 ・ちょうどよいはやさ ・最後(語尾)まではつきり 子どもによる映像による提示</p> <p>○ 聞き返し方や直したところが比較できるような, 話の文を黒板に提示し, 同じ文で練習させる。</p> <p>○ 前回とは別のペアにし, 友だちのことをもっと知りたいという意欲を高める。</p> <p>○ ペア練習の仕方(流れ)が分かるように, 音声のみに集中させて聞かせる。教師の音声による提示<b>《モデル3》</b></p> <p>○ 相手に分かるように話すことや, めあてを意識して取り組めるように声かけをする。</p> <p>○ ペア練習の前に, 段階的に身に付けさせたい力を意識させ, ペア練習の間でモデルを提示することで, 意欲を継続させながら, めあてに向かってスモールステップで高めていけるように支援する。</p>																										
<p><b>おはなしタイム</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">1 回目前 「声の大きさに気をつけて話し, 聞こう。」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">活動後 モデルを見る。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">2 回目前 「口の形に気をつけて話し, 聞こう。」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">活動後 モデルを見る。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">3 回目前 「ちょうどよいはやさで話し, 聞こう。」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">活動後 モデルを見る。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">4 回目前 「丁寧に最後まではつきり話し, 聞こう。」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">活動後 モデルを見る。</td> </tr> </table>	1 回目前 「声の大きさに気をつけて話し, 聞こう。」	活動後 モデルを見る。	2 回目前 「口の形に気をつけて話し, 聞こう。」	活動後 モデルを見る。	3 回目前 「ちょうどよいはやさで話し, 聞こう。」	活動後 モデルを見る。	4 回目前 「丁寧に最後まではつきり話し, 聞こう。」	活動後 モデルを見る。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="padding: 2px;">話し手</th> <th style="padding: 2px;">聞き手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">ちょうどよい声の大きさと話す</td> <td style="padding: 2px;">できているかどうか 聞く</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 2px;">1 回目後, 声の大きさに気をつけて話し, 聞くことができたモデル</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">口の形に気をつけて話す</td> <td style="padding: 2px;">できているかどうか 聞く</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 2px;">2 回目後, 口の形に気をつけて話し, 聞くことができたモデル</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">ちょうどよいはやさで話す</td> <td style="padding: 2px;">できているかどうか 聞く</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 2px;">3 回目後, ちょうどよいはやさで話し, 聞くことができたモデル</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">丁寧に最後まではつきり話す</td> <td style="padding: 2px;">できているかどうか 聞く</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 2px;">4 回目後, 丁寧に最後まではつきり話し, 聞くことができたモデル</td> </tr> </tbody> </table>	話し手	聞き手	ちょうどよい声の大きさと話す	できているかどうか 聞く	1 回目後, 声の大きさに気をつけて話し, 聞くことができたモデル		口の形に気をつけて話す	できているかどうか 聞く	2 回目後, 口の形に気をつけて話し, 聞くことができたモデル		ちょうどよいはやさで話す	できているかどうか 聞く	3 回目後, ちょうどよいはやさで話し, 聞くことができたモデル		丁寧に最後まではつきり話す	できているかどうか 聞く	4 回目後, 丁寧に最後まではつきり話し, 聞くことができたモデル	
1 回目前 「声の大きさに気をつけて話し, 聞こう。」																											
活動後 モデルを見る。																											
2 回目前 「口の形に気をつけて話し, 聞こう。」																											
活動後 モデルを見る。																											
3 回目前 「ちょうどよいはやさで話し, 聞こう。」																											
活動後 モデルを見る。																											
4 回目前 「丁寧に最後まではつきり話し, 聞こう。」																											
活動後 モデルを見る。																											
話し手	聞き手																										
ちょうどよい声の大きさと話す	できているかどうか 聞く																										
1 回目後, 声の大きさに気をつけて話し, 聞くことができたモデル																											
口の形に気をつけて話す	できているかどうか 聞く																										
2 回目後, 口の形に気をつけて話し, 聞くことができたモデル																											
ちょうどよいはやさで話す	できているかどうか 聞く																										
3 回目後, ちょうどよいはやさで話し, 聞くことができたモデル																											
丁寧に最後まではつきり話す	できているかどうか 聞く																										
4 回目後, 丁寧に最後まではつきり話し, 聞くことができたモデル																											
<p>4 「振り返りカード」を書き, がんばったことや思ったことを発表し, 次時の学習を確認する。</p>	<p>○ 「はなすちからのき」・「きくちからのき」を提示し, 相手に分かるようにするためには, 丁寧に, はつきりと話すことや分からないときは聞き返すことを確かめる。</p> <p>○ 次時への意欲につながるような声かけをする。</p> <p style="text-align: right;"><b>《モデル4》</b></p>																										

9 本時の展開 (4/5)

主な学習活動	主な支援と留意点																										
<p>1 前時を振り返り、今日のめあてを確認する。</p> <p>○ 相手に分かるように話すためには、聞き手は、うなずくだけではなく、聞いて思ったことを言ったり、分からないことは質問したりするとよいことに気付く。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             ともだちのはなしたことに、かんそうをいったりしつもんをしたりしよう。         </div>	<p>○ 「はなすちからのき」・「きくちからのき」を提示し、前時で学習したことを振り返らせる。</p> <p>○ もっとお互いに分かり合えるように話したり、聞いたりするには、どうすればよいか考えさせる。</p> <p style="text-align: center;"><b>教師と子どもによる演示 《モデル1》</b></p> <p>○ お互いに分かり合えるように話したり聞いたりするには、話されたことに対して感想を言って受け止めたり、質問をしたりするとよいことに気付かせる。</p>																										
<p>2 もっとお互いに分かり合うために、聞き手は大事なことを落とさずに聞き、感想や質問をつなげて言えるように練習する。</p> <p>(1) 感想の言い方を知り、練習する。 (一斉)</p> <p>(2) 質問の仕方を知り、練習をする。 (一斉)</p> <p>3 話し手と聞き手のペアで、友達の話したことに感想や質問の仕方を知り、練習をする。</p> <p>A B : よろしくおねがいします。 A : <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">① ② ③</span> A : かんそうをいってください。 B : <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">~ですね。</span> A : しつもんをいってください。 B : <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">~ですか。</span> A : ~です。 A B : ありがとうございます。</p>	<p>○ 教師が話し、子ども全員が聞き手になり、感想を聞き、話した内容のどの部分に対する感想か確認しながら、感想の言い方をカードで示す。</p> <p>○ 教師が話した内容は、前時まで用いたものと同じものを使い、黒板に掲示し確認しやすいようにする。</p> <p>○ 質問をさせ、他にどんな質問の言い方があるかカードで示す。</p> <p>○ 前回とは別のペアにし、友達のことをもっと知りたいという意欲を高める。</p> <p>○ ペア練習の仕方(流れ)が分かるように、音声のみに集中させて聞かせる。</p> <p style="text-align: center;"><b>教師の音声による提示 《モデル2》</b></p> <p>○ もっと互いに分かり合うために、めあてを意識して取り組めるように声かけをする。</p> <p>○ ペア練習の前に、段階的に身に付けさせたい力を意識させ、ペア練習の間でモデルを提示することで、意欲を継続させながら、めあてに向かってスモールステップで高めていけるように支援する。</p>																										
<p>おはなしタイム</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">1 回目前 「③に対し感想を言い、聞こう。」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">活動後 モデルを見る。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2 回目前 「自分の思った感想を言い、聞こう。」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">活動後 モデルを見る。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3 回目前 「感想を言い、質問をしよう。」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">活動後 モデルを見る。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">4 回目前 「感想を言い、質問されたら答えよう。」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">活動後 モデルを見る。</td> </tr> </table>	1 回目前 「③に対し感想を言い、聞こう。」	活動後 モデルを見る。	2 回目前 「自分の思った感想を言い、聞こう。」	活動後 モデルを見る。	3 回目前 「感想を言い、質問をしよう。」	活動後 モデルを見る。	4 回目前 「感想を言い、質問されたら答えよう。」	活動後 モデルを見る。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">話し手</th> <th style="width: 50%;">聞き手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">感想を聞く</td> <td style="text-align: center;">「 ~ですね。」(共感) ③に対して、感想を言う</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">1 回目後、③に対し感想を言い、聞くことができたモデル</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">感想を聞く</td> <td style="text-align: center;">自分の思った感想を言う</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">2 回目後、自分の思った感想を言い、聞くことができたモデル</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">感想を聞き、質問に答える</td> <td style="text-align: center;">感想に加えて、質問を言う</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">3 回目後、感想を言ったり、質問をしたりできたモデル</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">感想を聞き、質問に答える</td> <td style="text-align: center;">感想に加えて、質問を言う</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">4 回目後、感想を言ったり、質問をしたりし、質問に答えたモデル</td> </tr> </tbody> </table>	話し手	聞き手	感想を聞く	「 ~ですね。」(共感) ③に対して、感想を言う	1 回目後、③に対し感想を言い、聞くことができたモデル		感想を聞く	自分の思った感想を言う	2 回目後、自分の思った感想を言い、聞くことができたモデル		感想を聞き、質問に答える	感想に加えて、質問を言う	3 回目後、感想を言ったり、質問をしたりできたモデル		感想を聞き、質問に答える	感想に加えて、質問を言う	4 回目後、感想を言ったり、質問をしたりし、質問に答えたモデル	
1 回目前 「③に対し感想を言い、聞こう。」																											
活動後 モデルを見る。																											
2 回目前 「自分の思った感想を言い、聞こう。」																											
活動後 モデルを見る。																											
3 回目前 「感想を言い、質問をしよう。」																											
活動後 モデルを見る。																											
4 回目前 「感想を言い、質問されたら答えよう。」																											
活動後 モデルを見る。																											
話し手	聞き手																										
感想を聞く	「 ~ですね。」(共感) ③に対して、感想を言う																										
1 回目後、③に対し感想を言い、聞くことができたモデル																											
感想を聞く	自分の思った感想を言う																										
2 回目後、自分の思った感想を言い、聞くことができたモデル																											
感想を聞き、質問に答える	感想に加えて、質問を言う																										
3 回目後、感想を言ったり、質問をしたりできたモデル																											
感想を聞き、質問に答える	感想に加えて、質問を言う																										
4 回目後、感想を言ったり、質問をしたりし、質問に答えたモデル																											
<p>4 「振り返りカード」を書き、がんばったことや思ったことを発表し、次時の学習を確認する。</p>	<p style="text-align: center;"><b>《モデル3》</b></p> <p>○ 「はなすちからのき」・「きくちからのき」を提示し、相手に分かるようにするためには、友だちの話したことに感想や質問が言えたことを確認する。</p> <p>○ 次時への意欲につながるような声かけをする。</p>																										



## 9 本時の展開 (5/5)

主な学習活動	主な支援と留意点
<p>1 前時を振り返り、今日のめあてを確認する。</p> <p>○ 発表の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4つのグループに分かれて発表会をする。</li> <li>・ 1人が話し、6～7人が聞き質問する。</li> <li>・ 質問は一人の発表につき3つ以上（1回は発表できるようにする）。</li> <li>・ 時間で区切ること（時間の確保）。</li> </ul>	<p>○ 教室の四隅に分かれて、話し手と聞き手が分かるように場の設定をする。</p> <p>○ 話し方の木・聞き方の木を提示し、前時までに相手に分かるようにするために学習したことを振り返らせる。</p> <p>○ もっとお互いに分かるように話したり、聞いたりするには、どうすればよいか想起させる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>はっきり話したり、質問したりして、「大事にしているもの」を発表し合おう。 （相手に分かりやすく話したり、大事なことを落とさずに聞いたりしよう。）</p> </div>	
<p>2 話し方・聞き方で、学習してきたことを振り返り、自分のめあてを持つ。</p> <p>3 話し手（一人）と聞き手（3人）の④グループに分かれて、今までの学習を生かしてはっきりと話し、質問しあいながら発表会をする。</p> <p>一人目の発表 二人目の発表 三人目の発表 四人目の発表</p> <p>4 「振り返りカード」を書き、がんばったことやできるようになったことを発表し、次時の学習を確認する。</p>	<p>間で、子どもからモデルを出し、高めていく。</p> <p>一人目の発表後、（                      ）モデル 二人目の発表後、（                      ）モデル 三人目の発表後、（                      ）モデル</p> <p style="text-align: right;">《モデル》</p> <p>○ 話し方・聞き方の木を提示し、相手に分かるようにするための話す力、相手の話しを分かろうとする聞く力は、日常のどんな時にも大切であることを確認する。</p> <p>○ 日頃の話し方・聞き方の活動への意欲につながるような声かけをする。</p>

10 モデル

配時	こんなモデル	こういう目的で	こんな内容で	着目させる言葉・態度
1	①教師による演示のモデル 「大事にしているもの」の話	学習の見通しや意欲を持たせるため ・ 3つの内容はなすこと ・ 知らせたいことを決める	① わたしのだいじにしているものは(ぬいぐるみ)です。 ② そのわけは、(うまれたときに、おばあちゃんが、つくってくれた)からです。 ③ (いまでも、だいじにしています。)  《例》	① 大事にしているもの ② 大事にしているわけ ③ 今の気持ち
2	①教師による演示「大事にしているもの」の文の組み立てを変えたもの	相手に分かるように話すためには、順序に気を付けて話すことよきことに気付かせるため	③ (いまでも、だいじにしています。) ②そのわけは、(うまれたときに、おばあちゃんが、つくってくれた)からです。 ①わたしのだいじにしているものは(ぬいぐるみ)です。 (わざと順番を間違えて示す)	① 大事にしているもの ② 大事にしているわけ ③ 今の気持ち (はじめ・なか・おわり)
	②音声(カセット)でのモデル	ペア練習の仕方を知るため	AB: よろしくおねがいます。 A: 今から、大事にしているものについての発表をします。 ① ② ③ A: これで、わたしの大事なものの発表を終わります。 A: <u>順序に気を付けて話せていたかどうか感想を言ってください。</u> B: <input type="text"/>	○ペア練習の仕方が分かり、ペア練習を意欲的にしようとする。
	モデル文の揭示	※順序が分かるように音声のみに集中させるため	A: <u>順序に気を付けて話せていたかどうか感想を言ってください。</u> B: <input type="text"/> AB: ありがとうございます。	
③ペア練習「おはなしタイム」での子どもによる演示のモデル	順序に気を付けて話す力を高めていくため	身に付けさせたい力とモデル ① 最後まで話し、聞くことができたモデル ② ゆっくり話し、しっかり聞くことができたモデル ③ 相手の目を見て話し、聞くことができたモデル ④ 相手に分かるように話し、聞くことができたモデル	① うまくいかないが、順序に気を付け、最後まで話すことができる。 ② ゆっくりと話すことができる。 ③ お互い目を見て対話することができる。 ④ 句読点に気を付けて話したり、反応したりしながら聞くことができる。(うなずき、指折り)	

3	①教師による演示のモデル文	相手に分かるように話すためには、丁寧な言葉で話すこととよいことに気付かせるため	① わたしのだいじにしているものは(ぬいぐるみ) <u>です。</u> ② うまれたときに、おばあちゃんが、 <u>つくってくれました。</u> ③ いまでも、 <u>だいじにしています。</u>	～です。～ます。 ～ました。
	②ペア練習での子どもによる演示のモデル(ビデオ)	分りにくいときは、聞き返すことに気付かせるため  相手に分かるように話すためには、はっきりと話すこととよいことに気付かせるため	モデルの子どもの「大事にしているもの」(聞き取りにくい)  モデルの子どもの「大事にしているもの」のよくない例のモデルとよい例のモデルの比較	「もう一度話してください。」 相手に分かりやすく話すための態度 ・声の大きさ ・口の形 ・最後まではっきり ・ちょうどよいはやさ
	③音声(カセット)でのモデル  モデル文の揭示	ペア練習の仕方を知るため  ※はっきり丁寧に話すことが分かるように音声のみに集中させるため	AB: よろしくおねがいます。 A: 今から、大事にしているものについての発表をします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">①→ ②→ ③</div> A: これで、わたしの大事なものの発表を終わります。 A: <u>ちょうどよいこえのおおきさ</u> に気を付けて話せていたかどうか感想を言ってください。 B: <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; display: inline-block;"></div> AB: ありがとうございます。	○ペア練習の仕方が分かり、ペア練習を意欲的にしようとする。
	④ペア練習「おはなしタイム」での子どもによる演示のモデル	はっきりと丁寧に話し、分からないことは聞き返すことに気を付けて話す力を高めていくため	身に付けさせたい力とモデル ① 声の大きさに気を付けて話し、聞くことができたモデル ② 口の形に気を付けて話し、聞くことができたモデル ③ ちょうどよいはやさで話し、聞くことのできたモデル ④ 丁寧に最後まではっきり話し、聞くことができたモデル	①声の大きさに気を付けて話し、聞くことができる。 ②口の形に気を付けて話し、聞くことができる。 ③ちょうどよいはやさで話し、聞くことができる。 ④丁寧に最後まではっきり話し、聞くことができる。

4	①教師と子どもによる 演示	もっとお互いに分 かり合えるように 話したり、聞いたり するには、どう すればよいかを考 えさせるため	教師の「大事にしているもの」の話 に対して、聞いていても、だまっ たままだと相手に伝わっているのか 分からないことや、感想・質問のよ さに気付かせるモデル	○ お互いに分かり合 えるように話したり、聞いたりする には、どうすればよいかを考え、感 想を言うことや質問をすることのよ さに気付くことができる。
	②音声（カ セット）で のモデル  モデル文の 掲示	ペア練習の仕方を 知るため ※感想や質問の仕 方が分かるように 音声のみに集中さ せるため	A B：よろしくおねがいします。 A：今から、大事にしているもの についての発表をします。 ①→ ②→ ③ A：これで、わたしの大事なものの 発表を終わります。 A：感想を言ってください。 B： ですね。  A：質問を言ってください。 B： ですか。 A：～です。 A B：ありがとうございました。	○ ペア練習の仕方が 分かり、ペア練習を 意欲的にしようとする。
	③ペア練習 「おはなし タイム」で の子どもに よる演示の モデル	相手が話したこと に感想や質問をす る力を高めていく ため	身に付けさせたい力とモデル ① 発表文（3）「思ったこと」に対 して感想を話し、聞くことができ るモデル ② 自分の思った感想を話し、聞くこ とができたモデル ③ 感想や質問を言えたモデル ④ 感想や質問を言い、それに答えた モデル	①発表文（3）「思った こと」に対して感想 を話し、聞くことが できる。 ②自分の思った感想を 話し、聞くことがで きる。 ③感想や質問を言え る。 ④感想や質問を言い、 それに答えることが できる。
5	①7～8人の グループの 子どもによ る演示	発表会の仕方を知 るため  ※話す・聞くと きの表情や場の雰 囲気づくり に気付か せるため	みんな：よろしくおねがいします。 A：今から、大事にしているもの についての発表をします。 ①→ ②→ ③ A：これで、わたしの大事なものの 発表を終わります。 A：感想を言ってください。 3人 ですね。 A：質問を言ってください。 3人 ですか。 A：～です。 みんな：ありがとうございました。 Bに交代 CDEF・・・・	○ 発表の仕方が分 かり、相手に分かる ように、はっきり話 し、『大事にしてい るもの』を楽しく伝 えることができる。 ○ 感想を言ったり、 質問をしたりして、 興味を持って聞く ことができる。